

平成27年度 長良川河口堰県民調査団の意見

長良川河口堰（アクアプラザながらを含む）

【治水について】

- No. 1 長良川河口堰ができて、浚渫が行われて、水害被害が無くなり、安心して暮らせるようになり、改めて治水効果が分かりました。
- No. 2 長良川は、ダムを作ることや、近くに家があるため、堤防をずらすことができないため、河道の浚渫等をして、洪水等が起きないように守られていることが分かった。河道の浚渫によって、塩害が起きないように河口堰で守られていることも分かった。洪水、高潮、津波等ゲートの操作で水位の管理をしているので安心できると思った。
- No. 3 今回の研修を通じて、地元に住んでいながら知らないことが多くあることに気付かされました。昔から洪水が多くあり、それに対して堤防を高くし、強固にすることによって守っているとしか知りませんでした。浚渫による河川断面の拡大によって流量の確保や河口堰による塩害の防止、更には生物の保全など、水害だけに対応しているわけではないと初めて知りました。
- No. 4 長良川河口堰県民調査団に初めて参加したが、わかりやすい説明であった。アユふ化事業やサツキマス放流事業については、初めて聞く話であったため、大変興味深く聞かせてもらった。治水や環境に対し、河口堰が果たす役割は大きいと思った。
- No. 5 河口堰による治水効果や利水について、説明が分かりやすかった。
- No. 6 引き堤や霞堤の余地の無さに触れたのは説明として成立していたが、治水対策について、他に無い旨をもっと強調してもよかった。
- No. 7 浚渫の効果については、河口堰建設前からの浚渫でも機能していたのではないかという質問に対しては少々丁寧さに欠いた。
- No. 8 20年が経ち、岐阜県、三重県、さらに愛知県民生活の向上のために、治水、利水、環境面で、なくてはならない施設と考えている。3県の農業を守り、工業を発展させるためにも、重要な施設であると再認識した。これを広く広報すべきと考える。
- No. 9 いろいろと問題になっていたけれど、アユもたくさん遡上しているのがわかったし、ふ化させて放流などもしているので、魚が減少しないように考えられているなと思った。治水についても、浚渫をして洪水などの被害が出ないように考えられていると思った。
- No. 10 今回参加させていただいて、河口堰の必要性を知ることができた。治水対策を行うため、河口堰があり、また、そのために自然環境等が壊れないため、「せせらぎ魚道」「調節ゲート」などの工夫がなされていることが勉強になって良かった。
- No. 11 水害から身を護り、貴重な水資源を保護するために重要な役割を果たしていると感じた。

- No. 12 治水、利水はとても重要なものであると思った。アユ等の生き物に対する対策もしっかりされている。地震への対策も引き続き検討をお願いしたい。
- No. 13 河口堰だけでなく、木曾川、揖斐川と比較しながら、長良川流域の特性や治水対策の説明があり、ポイントが整理されていたと思われる。
- No. 14 生活用水及び上流部にお住いの人々の生活と安全が守られると実感した。
- No. 15 治水効果の評価について、質問が出たように、若干補足説明が必要だと思われる。(H16 2.0mの水位低下効果(水理計算)、H14 1.6mの水位低下効果(H-Qから))
- No. 16 今回提出させていただいた資料は、平成6年の状況と比較するために、行政文書開示請求によって入手した墨俣地点の水位流量曲線図、横断断面図、観測流量表をもとに作成したもの。データの引用間違いや転記ミス等、不正確な点があればご指導願いたい。検討会で十分議論していただきたい。

【環境について】

- No. 1 長良川河口堰の仕組みのみならず、魚や貝のことなど自然環境について、たくさんのお話を学ぶことが出来たり、自然を守ることを考えることが出来たり、実際に川の様子を見ながら体験できるので、大変わかりやすいと思った。このような施設があることももっと多くの人に知ってもらいたいと思った。
- No. 2 以前より水が汚く感じるのはガラス面のせいかな。
- No. 3 初めての参加だったので、意見を言うほど把握できていないので、よくわかりません。理解できないのは、私の勉強不足で、一つ一つはわかりませんでした。魚の生態などもしっかりしていいことだと思いました。
- No. 4 よく調査されていると思いました。
- No. 5 アユ降下実績が分かるとよい。特に湛水区間での挙動調査が必須と思う。
- No. 6 放流鮎の冷水病の経年的実態を把握してほしい。
- No. 7 河口堰の弾力的な運用の拡大に伴う効果について、検証し、PRする必要があると思う。
- No. 8 遡上数調査は多大な費用・労力を必要とするため、相当なデータも蓄積されていることから、サツキマスと同様に市場入荷状況や漁獲量の全国との比較で検討してもよい時期に来ているのではないかな。
- No. 9 魚道の上流側には天敵(ハス、ニゴイ、鳥も含む)が待ち構えており、初期損失を減らす努力が必要であると感じられた。
- No. 10 堰というどうしても流れを止めてしまうというイメージだったが、長良川河口堰の仕組みを説明していただき、なるほどと思うことがたくさんあった。自然のことをよく考え、いろいろ工夫されていることに驚き感心した。

- No. 11 河口堰を作ることが100%良であったのか、私には判断しかねる。これからも関心を持って見守っていきたいと思った。人も魚も貝もすべてが安心して生きていける環境が一番だとつくづく感じた。
- No. 12 立派な河口堰でびっくりしました。毎日24時間担当者の努力に感謝している。アユがたくさん遡上することを願っている。
- No. 13 魚類に配慮して堰のきめ細やかな操作が行われていることが分かりました。2m以上の津波が来た時のゲートの作業や停電対策についてわかった。
- No. 14 河口堰を間近で見たのは初めてでとても勉強になった。水に対する設備だけでなく、生物に関することが多いことに驚いた。
- No. 15 魚道等を間近で見学することができ、生態への対策が良くわかりました。
- No. 16 堰のできる前と後ではアユの漁獲量のグラフはやっぱり少なくなっていると思った。
- No. 17 環境保全の取り組みとして、アユの孵化事業の協力をしていること、とてもよいことだと思った。
- No. 18 塩害の実態がよくわからない。
- No. 19 絶滅危惧種に指定した長良川の鮎。このことを指定した行政にしっかり抗議して取り消しを求めるべきだ。
- No. 20 長良川河口堰を作ったことに賛否両論あるようだが、結論を出すことが目的ではなく、これからも関心を持って川の自然について、周りの人々の生活について、見守っていくことが大切だと思った。
- No. 21 各地で取水利用されている中で、生態系への影響だけでなく、利用者への水の安全性からも、フラッシュ操作の回数を増やし、努力していただけていることに感謝している。アユについても、産卵を促す努力により、改善されていることはありがたい。農林業・漁業の担い手不足により、川や水への関心度が全国的に薄れていることは残念。世界農業遺産としてのアユも、現状では疑問がもたれます。近年、環境教育としての取り組みは進んできてはいますが、もう少し掘り下げて、親子や学校教育として親しめる場が必要かと思う。
郡上のアユパーク構想を知り、うれしく思う。無理な構想は避けて、自然の川を大切に守りながら、川の危険性や防災教育や文化歴史も含め、釣り人口の仲良しクラブの増員を期待する。
特定の人だけでの占有物にならないよう、広くインターネット等で呼びかけ、開かれた手作りのぬくもりの或るものであってほしい。
展示物等も行政で準備するより、ある程度参加者自慢のコーナーがあってもよいと思う。
愛知での長良川勉強会も、内容に温かみが出てきたように思う。
縦割り社会の壁をできるだけ除き、皆さんの長所をもやいながら、世界に誇れる長良川を自慢したい。

No. 22 河口堰近辺にあまりにも多い鵜が確認された。私たち板取川上流漁協では、努力して平成26年度は72羽、今年は7月末で45羽駆除しているが、鵜は上流にどんどん飛んでくる。ぜひ三重県の方でも駆除に協力してほしい。

【施設について】

No. 1 河口堰操作では、365日、24時間体制で監視、操作が行われ、安全に操作されていることがよくわかりました。

No. 2 今回初めて参加し、建物があることを初めて知りました。

No. 3 素晴らしい施設だった。

No. 4 見学施設があることを初めて知りました。長良川河口堰の歴史などについて、知ることができて良かった。

No. 5 長良川河口堰の役割を知る上で、重要な情報提供施設だと思います。

No. 6 河口堰のドーム内の機械を見学でき説明があったので良かった。

No. 7 河口堰のゲート操作室に初めて入り、電源系統（複線化）の説明を受けた。維持管理を含めて膨大な費用を要することが感じられた。

No. 8 津波来襲時の運用（2m未満：閉、2m以上：開）について、貯水位と潮位の関係、津波が必ずしも最大値とは限らないなど、数値シミュレーションの分析をし、危機管理に役立ててほしい。

No. 9 この施設を維持するため、多くの人の努力と働きがあることにも敬服した。

No. 10 自家発電を確認できてよかった。

No. 11 よく管理されていると感じた。

No. 12 普段入ることのできないところに入って説明を聞くことができるとても勉強になったと思う。

No. 13 今までの考えと今回見させていただいたこと、更に、説明を受けたことにより、全くと言っていいほどわかっていなかったことを知った。

No. 14 普段見ることができない箇所を見ることができ、河口堰の果たす役割をより詳しく知ることができたので良かった。

No. 15 TV等で見てはいますが、担当の方の説明を聞くことにより、TV等の情報とは違う部分もあり参考となった。

No. 16 仕事柄、ゲートの構造は知っていたものの、操作運用については、改めて知ることも多く、大変勉強になった。

No. 17 よく調査されていると思った。

- No. 18 洪水時、津波時において、ゲートの操作並びに電源のバックアップ体制が万全であると説明を受け安心した。環境面への取り組みについて、概ね達成していると思った。
- No. 19 長良川河口堰を見学したのは初めてでしたが、一時世間ではよく言われていない時期もありましたが、説明を聞きやはりあるべきことが分かりました。もっと大勢の人々に見学してもらおうべきと思った。
- No. 20 河口堰の機能や効果について、理解を深めることができました。堰のことを知るには、貴重な機会だと感じました。
- No. 21 長良川河口堰について、TVニュース等で見聞きすることはあったが、実際に施設を見学することは無いので、今回初めて参加して理解を深める良い機会となった。もっと多くの人たちに見学の機会があるとよい。

【その他について】

- No. 1 説明が分かりやすくよく理解できた。
- No. 2 質問が、河口堰を批判するグループの人によるものであった。この人だけの質問に時間が来てしまったのでなんとかならないか。
- No. 3 この建物（アクアプラザながら）内を見学する時間があってもよいのではないか。
- No. 4 質疑応答が個人に偏ったため、次回からは工夫が必要である。
- No. 5 今回初めて参加させていただいたので、このような施設（アクアプラザながら）があることも知らず、施設内をゆっくりと見たかったです。
- No. 6 会議室（アクアプラザながら）しか見る時間が無かった。
- No. 7 シアタールームのみの利用でしたので、全て見学したかった。
- No. 8 研修場所としては良い場所にあると思いましたが、直接バスから研修室へ入ってしまったので、見学することができず、残念に思いました。
- No. 9 アクアプラザの見学時間が無く残念である。
- No. 10 質疑が一人に集中しており内容が偏っている。他の参加者が欲求不満になる。最初のうちは一人一問を周知しておいた方がよい。
- No. 11 施設見学・説明を受ける手順として、2班に分かれての説明だったが、先行するグループに後ろのグループが追いつく場面もあったため、順序等の工夫が必要であったと思われる。

No. 12 県民調査団の目的が、河口堰の事業効果に対する疑問等に回答すべく、広く県民の意見を聞き、それを検討会で協議し、県民の理解を得ていくことにあるとのこと。ぜひ進めていただきたい。なお、県民の様々な意見、疑問に答えていくためには、もう少し質疑応答時間を長くしてほしい。

No. 13 今回は、施設内を見学できなかったのが、次回、ぜひ見学したい。施設はきれいにしてあると思います。

No. 14 参加者の多くは、役所、漁協など、河口堰に関係のある人が多いように見えた。一般社会人や中高校生などに変更したらどうか。
また、毎回河口堰を批判する人が参加され、質問されるが、これは他の参加者には見苦しく見える。質問がしつこいので時間がとられる。これでは他の意見を持った人が意見を出すことができない。

No. 15 県民調査団もマンネリ化してきましたが、次回以降は流域全体を考慮しながら、誇れる長良川を皆で考える場であってもよいかと期待する。

No. 16 効率よい行程を望む。

長良川河道掘削箇所（11kp付近）

【治水について】

No. 1 掘削箇所を実際見ることができたので良かった。

No. 2 河川整備計画（長良川）に記載されている現況流下能力と戦後最大の洪水流量の関係において、不足している流下断面積を掘削していることなどの事前説明、位置づけが分かるとよかった。

No. 3 長良川流域の治水面での安全性の向上が図られ感謝している。

No. 4 ただ掘ればよいというものではなく、砂を取るために水をためておくなど本当に自然を大切に考えられていることが分かり感心した。知らないことがよくわかって良かった。

No. 5 河川内の流動面積だけにとらわれてはいけない。河床をきれいにするによって、地下水への浸透しやすくなる。このことにより、地下水が洗われ、自噴力が高まり、長所は多い。今後は水循環基本法の制定に伴い、地下水の動き方を注意してほしい。

No. 6 努力されていることがよくわかりました。

No. 7 河道掘削場所では、河床の土を視察し、想像以上の土の量でびっくりした。河床を掘り、河川の水位低下効果が分かった。

No. 8 実際に、河道の掘削現場を見て、すごい量の砂があるので驚いた。そして、その砂を再利用しているので、合理的だと思った。河床の土を吸い上げて、そのまま水を戻すのではなく、1回土を沈殿させてから、水を戻しているのが、水も濁らないのでいいと思う。今後もやってほしい。

No. 9 河川水位低下により、治水が守られていると実感した。

No. 10 実際の掘削作業現場を見学できたことは良かった。

No. 11 バスの中では、掘削した土砂の山を見て、「これは確かに必要だね」という声が聞こえた。同じ感想を持った。中からの視察ではなく、現地を確認できたら良かった。

No. 12 浚渫による治水の効果はよく理解できた。引き続き工事をお願いしたい。

No. 13 車で横を通っていたが、何のための工事が行われているのか知らなかった。実際に工事の様子を見たいと思った。

【環境について】

No. 1 見た感じ良さそうな砂なので、処理して再利用されるのが良いのではないかな。

【その他について】

No. 1 昨年の方が良かった。

No. 2 できれば作業中の現場の方が分かりやすかったと思われる。また、可能であるならば掘削土の再利用箇所が見られるともっと良かった。

No. 3 バスに乗ったまま停車することもなかったので、初めて見学する者にとっては、あまり理解できなかったのではないかなと思う。

No. 4 車中からの視察ではなく、現地を確認できたら良かった。